

16.5.21 報告

【1号議案資料】

# 新川千本桜植栽事業事業

## (案) 《事業報告書》

新川千本桜植栽事業委員会

八千代市長 豊田 俊郎 様

新川千本桜植栽事業が完了したので別紙のとおり報告いたします。

平成16年 5 月 2 1 日

新川千本桜植栽事業委員会委員長 \_\_\_\_\_

副委員長 \_\_\_\_\_

## 目次

事業目的	.....	1
事業の経過及び実績	.....	1～6
1. 委員会の開催状況	.....	1
2. 事業の経過	.....	1
3. 植樹式	.....	2
4. 植栽箇所及び植栽本数	.....	3
5. 植栽品種	.....	3
6. 寄附金	.....	3
7. プレート	.....	4
9. 里親	.....	4
10. 生育状況	.....	4
11. 今後への提言	.....	5
事業費決算	.....	7～10
事業状況図	.....	11
生育状況写真	.....	12
<del>里親一覧表</del>	<del>.....</del>	<del>13～38</del>
<del>コメント一覧表</del>	<del>.....</del>	<del>39～77</del>
委員名簿	.....	78
実施要領	.....	79
委員会設置要領	.....	80

## 事業目的

花を素材とし美しい街をつくることにより地域への愛着心を高めるという「花のまちづくり構想」に基づき、桜を新川の堤に植栽し桜の花で新川の兩岸を埋め、これにより市民の市への愛着心を育むことを目的とし、新川及び桑納川での「ふるさとの川モデル事業」の一環ともなるものであります。

## 事業の経過及び実績

### 1. 委員会の開催状況（平成13年6月28日設立）

#### ○平成13年度事業

- 平成13年6月28日 第1回委員会…事業の説明、今後の予定の説明
- 平成13年7月13日 第2回委員会…プレート設置、寄付金の額の検討
- 平成13年8月3日 第3回委員会…寄付金の額、桜の種類・ソーニングの検討
- 平成13年8月24日 第4回委員会…寄付金の額、桜の種類・ソーニングの検討
- 平成13年9月6日 第5回委員会…事業計画の決定
- 平成13年9月19日 第1回中間報告書を市長あてに提出
- 平成14年1月7日 第6回委員会…当選者の抽選、今後の計画の検討
- 平成14年2月18日 第7回委員会…植樹式、市民組織、土地改良実施区域の取扱い

#### ○平成14年度事業

- 平成14年6月26日 第8回委員会…平成13年度事業報告、平成14年度事業計画
- 平成14年10月17日 第9回委員会…里親の抽選、ボランティア組織

#### ○平成15年度事業

- 平成15年9月16日 第10回委員会…里親の抽選、ボランティア組織
- 平成16年5月21日 第11回委員会…事業報告書、その他

### 2. 事業の経過

#### ○平成13年度

- 平成13年10月15日 10月15日号広報にて里親の募集を開始（12月10日〆切）
- 平成14年1月10日 当選者へ通知（500本分）
- 平成14年1月11日 寄付金の受け入れ、プレート記載内容の確認開始
- 平成14年1月19日 植栽基盤整備工事（市発注）着工
- 平成14年2月上旬 プレート発注（500枚分）
- 平成14年3月上旬 苗木の植栽開始
- 平成14年2月20日 千葉土木事務所へ河川法第27条の許可申請（3月17日許可）
- 平成14年2月20日 関東農政局へ土地改良財産多目的使用申請（3月5日許可）
- 平成14年2月20日 水資源開発公団へ水資源開発施設使用承認申請（2月27日許可）
- 平成14年3月上旬 植樹式の準備
- 平成14年3月17日 植樹式（八千代総合運動公園多目的グラウンド）

○平成14年度

- 平成14年8月1日 8月1日号広報にて里親の募集を開始（9月30日〆切）  
平成14年10月28日 当選者へ通知（444本分）  
平成14年11月1日 寄付金の受け入れ、プレート記載内容の確認開始  
平成14年11月15日 水資源開発公団へ水資源開発施設使用承認申請（11月19日許可）  
平成14年11月18日 関東農政局へ土地改良財産多目的使用申請（12月17日許可）  
平成14年11月22日 千葉土木事務所へ河川法第27条の許可申請（12月17日許可）  
平成14年12月7日 植栽基盤整備工事（市発注）着工  
平成15年2月中旬 苗木の植付け  
平成15年2月中旬 植樹式準備  
平成15年2月23日 植樹式（米本小学校グラウンド）

○平成15年度

- 平成15年8月1日 8月1日号広報にて里親の募集を開始（9月1日〆切）  
平成15年9月30日 当選者へ通知（208本分）  
平成15年11月1日 寄付金の受け入れ、プレート記載内容の確認開始  
平成15年11月26日 水資源開発公団へ水資源開発施設使用承認申請（12月4日許可）  
平成15年11月26日 千葉土木事務所へ河川法第27条の許可申請（1月19日許可）  
平成15年12月1日 関東農政局へ土地改良財産多目的使用申請（12月24日許可）  
平成15年12月16日 植栽基盤整備工事（市発注）着工  
平成16年2月中旬 苗木の植栽開始  
平成16年2月中旬 植樹式の準備  
平成16年2月29日 植樹式（少年自然の家グラウンド）

3. 植樹式

○平成13年度

- 開催日……平成14年3月17日（日）  
会場……八千代総合運動公園多目的グラウンド  
式典時間……午前9時30分～午前9時45分  
参加者数……約530名  
出席者……市長、委員8名  
内容……委員長挨拶、市長挨拶、管理について依頼、各自プレートの取り付け

○平成14年度

- 開催日……平成15年2月23日（日）  
会場……八千代市立米本小学校グラウンド  
式典時間……午前9時30分～午前9時45分  
参加者数……約400名  
出席者……助役、委員8名  
内容……委員長挨拶、助役挨拶、管理について依頼、各自プレートの取り付け

○平成15年度

- 開催日……平成16年2月29日（日）  
会場……八千代市少年自然の家グラウンド

式典時間……午前9時30分～午前9時45分

参加者数……約200名

出席者……市長，委員10名

内 容……委員長挨拶，市長挨拶，管理について依頼，各自プレートの取り付け

#### 4. 植栽箇所及び植栽本数

植栽した箇所は，新川の大和田排水機場から阿宗橋までの約8.9kmの区域で，植栽間隔約10mで合計1,152本の桜の苗木を植栽しました。

##### ○平成13年度

植栽箇所……県立八千代広域公園面的施設建設予定地北端～八千代橋

植栽本数……500本

植栽品種……陽光(484本)，十月桜(8本)，寒桜(4本)，兼六園菊桜(4本)

##### ○平成14年度

植栽箇所……八千代橋～神尾橋（一部大和田排水機場上流右岸）

植栽本数……444本

植栽品種……河津桜(422本)，陽光(10本)，駿河台匂(8本)，八重紅枝垂(4本)

##### ○平成15年度

植栽箇所……神尾橋～阿宗橋

植栽本数……208本

植栽品種……河津桜(206本)，八重紅枝垂(2本)

##### ○事業総計

植栽箇所……大和田排水機場～阿宗橋（約8.9km）

植栽本数……1,152本

植栽品種……陽光(494本)，河津桜(628本)，十月桜(8本)，寒桜(4本)，兼六園菊桜(4本)，駿河台匂(8本)，八重紅枝垂(6本)

#### 5. 植栽品種

主たる品種を陽光（八千代橋以南）と河津桜（八千代橋以北）とし，新川に架かる橋のうちいくつかの橋の両側に添景となる珍しい品種の十月桜（宮内橋），寒桜（富士見橋），兼六園菊桜（八千代橋），駿河台匂（平戸橋），八重紅枝垂（神尾橋）を植栽しました。陽光は，染井吉野に見られる天狗栗病に罹らないということと染井吉野に比べ寿命が長いということから選定され，通常の桜と同時期に大輪で桃色，人目を引く花が咲く桜である。河津桜は，2月下旬から3月上旬に濃い淡紅色で大輪の花を咲かせる桜で，原木のある伊豆河津町には8,000本以上の桜があり，観光名所となっています。

#### 6. 寄附金

寄附金は、植栽及び管理の費用を考慮し、個人・団体については1口1万円とし、法人については1口3万円以上としました。

#### 7. プレート (別添記載内容一覧表を参照)

里親は、桜にプレート(アルミ複合板、大きさ概ねB6版)を付ける権利を有し、各事業年度でその記載内容を聴取し事務局で作成しました。各プレートは、植樹式際に各里親に手渡し自分で桜に取り付けてもらいました。

#### 8. 募集数及び応募数

##### ○平成13年度

募集口数……500口

応募口数……904口(落選者にはH14年度里親の権利を付与)

##### ○平成14年度

募集口数……142口(302口はH13年度応募者)

応募口数……430口(落選者にはH15年度里親の権利を付与)

##### ○平成15年度

募集口数……44口(164口はH14年度応募者等)

応募口数……269口

##### ○事業総計

募集口数……1,152口

応募口数……1,603口

#### 9. 里親 (別添一覧表を参照)

○平成13年度……個人・団体464(本数495), 法人5(本数5), 合計469

○平成14年度……個人・団体416(本数434), 法人8(本数8), 合計424

○平成15年度……個人・団体205(本数208), 法人0(本数0), 合計205

○事業総計……個人・団体1,083(本数1,137), 法人13(本数15)

合計の里親人数……1,096名

(※年度をまたがり里親となっている方が2名いるため年度毎の合計とは不一致)

#### 10. 生育状況 (別添状況写真を参照)

平成13年度事業で植栽した陽光は、現在最も生育状況のよいもので樹高3mを超えるものもあり順調に生長しています。平成14年度事業で植栽した河津桜は苗木自体の樹高が高かったこともあり、やや背が高くなおかつ木の上部に枝が集中するような樹形となっており風に弱い樹形になっています。実際、大風の後には斜めに傾いた状況になってしま

ており風に弱い樹形になっています。実際、大風の後には斜めに傾いた状況になってしま  
う木が多数見受けられ、今後、適正な支柱を設けたり、風が通り抜けることができるよう  
枝の剪定をするなどの手当てが必要となっています。

平成15年度事業で植栽した河津桜は、まだ、植栽したばかりであり今後活着するかど  
うかを見守る必要があります。

雑草の除草や支柱への結束状況等の確認については、平成15年4月17日に設立され  
たボランティア組織の「新川千本桜の会」の皆さんにご協力を頂いておりますが、植栽場  
所が風の強い河川敷であることから、すでに樹形に風による偏った枝ぶりとなったものが  
多数見受けられ、また、一部に水はけが悪く桜の生育環境には不適な箇所も見られ、その  
ような場所に植えられた桜はやはり生育状況が著しく悪い状況となっていることから、生  
育環境の改善をも視野に入れ、支柱等の手当てをしています。

## 11. 今後への提言

新川の兩岸に桜を植栽し県内有数の桜並木を創出しようという「新川千本桜植栽事業」  
が完了し、とりえず桜の苗木が大和田排水機場から阿宗橋までの間で植栽されました。  
委員会はこれで解散となりますが、事業の成否は今後の桜の育生状況いかに係っている  
といっても過言ではありません。今後、里親の皆さんや「新川千本桜の会」のボランティ  
アの皆さんのご協力を頂きながら、まだ小さな桜が立派な桜となるよう管理育生されるこ  
とを切望し、委員会より以下の4点について提言いたします。

### 1. 生育環境の改善

生育状況のところでも触れましたように、一部の桜は生育環境が非常に厳しい場所に植  
栽されており、場合によっては枯損したり、極めて生長が遅くなるような状況が予測され  
ますので、その生育を見守り、枯損等した場合には植え替え、著しく生育が悪いような場  
合には生育環境の改善を図るよう提言いたします。

また、管理育生上重要なことは風への対処で、適正な支柱を設置し桜が風で折れたり、  
樹形が歪んだりしないよう適正な管理育生をされるよう提言いたします。

また、現在は樹高も低く、ボランティアの殺虫剤の散布や枝の剪定等が可能な状況です  
が、木が生長するにともない素人での対処は困難なため、病害虫の防除、高所剪定等を専  
門家に委託し、適正に対処されるよう提言いたします。

### 2. 財源確保

美しい桜並木が創出できるよう適正な管理育生を行なうためには、財源の確保が重要で  
す。市の財政状況が厳しい場合には、選択肢の一つとして新川千本桜の目的を再度広く市  
民に啓蒙し、募金活動を行なう方法により財源確保に務めるよう強く提言いたします。

### 3. 環境整備

数年後には市民を中心とする多くの人々が花見を楽しむことが出来ることは確実に、駐  
車場、トイレ等の完備が緊急に必要となります。河川管理者等関係機関と調整を図りなが  
ら整備するよう提言いたします。

### 4. 啓蒙普及

桜の生長に伴い、市民の桜への関心が高まり、市外からの問い合わせが増幅することが  
予想されるため、桜の品種や栽培・管理方法等についての情報収集・整理、開花予想や見  
頃の案内広報、駐車場等の施設の周知徹底についての検討、準備が不可欠であることを提  
言いたします。



最後に、校の管理育生のボランティア団体「新川千本桜の会」の充実とハード・ソフト両面での市民・行政の緊密な連繫を推進し、美しい桜並木の完成を果たすと共に、里親の皆さんがプレートに記載した誕生、入学記念、八千代市の発展や平和等の願いの実現に向け力を尽くすよう強く希望いたします。

## 事業費決算

### 【収入】

▷寄付金(里親より(1,152本分))

13年度 5,165,000 円(個人・団体 4,950,000 円, 法人215,000 円)

14年度 4,640,000 円(個人・団体 4,340,000 円, 法人300,000 円)

15年度 2,081,000 円(個人・団体 2,081,000 円, 法人 0 円)

小計 11,886,000 円(個人・団体11,371,000 円, 法人515,000 円)

▷寄附金(募金箱等)

14年度 18,604 円(募金箱)

15年度 7,575 円(募金箱)

小計

26,179 円

収入合計

11,912,179 円

### 【支出】

▷植栽(植樹式を含む)

◦苗木

・13年度(日本花の会)

陽 光(1年生) ……484(本)× 600(円/本)

寒 桜(1年生) …… 4(本)× 700(円/本)

十 月 桜(1年生) …… 8(本)× 800(円/本)

兼六園菊桜(1年生) …… 8(本)× 800(円/本)

4 品種

500(本)

333,165円

・14年度(日本花の会)

河 津 桜(1年生) …… 427(本)×1,200(円/本)

駿 河 台 匂(1年生) …… 8(本)×1,000(円/本)

八重紅枝垂(1年生) …… 4(本)×1,200(円/本)

寒 桜(1年生) …… 4(本)×1,200(円/本)

十 月 桜(2m以上) …… 2(本)×3,000(円/本)

5 品種

445(本)

581,700 円

・15年度(日本花の会, 偷植吉造園)

河 津 桜(1年生) …… 213(本)× 850(円/本)

八重紅枝垂(1年生) …… 2(本)×1,000(円/本)

2 品種

215(本)

192,727 円

苗木計

7 品種

1,160(本)

1,107,592 円

◦ 植付

・ 13年度	(500本分, 八千代市造園建設業組合)	1,250,000 円
	(イタズラ等により消失した桜の復旧)	8,925 円
	(土地改良区からの要請により56本移植)	470,400 円

小計 1,729,325 円

・ 14年度	(444本分, 八千代市造園建設業組合)	1,110,000 円
	(植樹への客土他)	181,000 円

小計 1,291,000 円

・ 15年度	(208本分, 八千代市造園建設業組合)	546,000 円
--------	----------------------	-----------

植付合計 3,566,325 円

◦ プレート

・ 13年度	(500枚の作成, 修正)	597,398 円
・ 14年度	(444枚の作成, 修正)	518,709 円
・ 15年度	(208枚の作成, 修正)	260,253 円

プレート計 1,376,360 円

◦ 雑品

・ 13年度	(番号札, 取付用紐)	23,948 円
・ 14年度	(番号札, 取付用紐)	9,723 円
・ 15年度	(番号札, 取付用紐)	11,655 円

雑品計 45,326 円

植栽計 6,095,603 円

◦ イベント費用(イベント費用は基金からの繰入金より支出)

・ 13年度	(横断幕, 立看, 音響機材 <sup>レ</sup> 他)	240,292 円
・ 14年度	(横断幕, 立看, 音響機材 <sup>レ</sup> 他)	203,350 円
・ 15年度	(横断幕, 立看, 机, 椅子 <sup>レ</sup> 他)	218,137 円

イベント費用計 661,779 円

▷ 維持管理

◦ 補植

◦ 苗木

・ 15年度	河津桜(2年生, 14本)	12,600 円
	陽光(2年生, 14本)	12,600 円

寒桜 (2年生, 2本)		6,000 円
十月桜 (2年生, 1本)		1,300 円
八重紅枝垂 (2年生, 1本)		1,500 円
苗木計	5 品種 32(本)	37,275 円
○ 植付		
・ 14年度	(6本分)	6,300 円
・ 15年度	(30本分)	90,405 円
植付計		96,705 円
○ 移植費 (土地改良区からの要請により 5本移植)		42,000 円
○ 予備苗木保管料		10,500 円
補植合計		186,480 円
○ プレートの補充		
・ 14年度	(欠損の補充)	55,221 円
・ 15年度	(41枚)	50,495 円
プレートの補充計		105,716 円
○ 支柱設置 (370本分)		1,282,050 円
○ 草取り (14年度, 3回合計1,220(本分))		485,498 円
○ 矢子剪定		21,000 円
○ 結束修理		21,000 円
維持管理合計		2,101,744 円

▷ ボランティアへの支援 (「新川千本桜の会」(H15. 4. 17設立))

○ 器材援助			
・ 草刈鎌	16 本	2,541(円/本)	40,656 円
・ 刈込鋏	8 丁	2,625(円/丁)	21,000 円
・ 砥石	8 個	714(円/個)	5,712 円
・ 棕櫚縄	24 巻	367(円/巻)	8,820 円
・ 幹当	4 巻	2,992(円/巻)	11,970 円
・ スプレー式殺虫剤	94 本	819(円/本)	76,986 円
・ 殺虫剤 (ピン入り)	8 本	2,803(円/本)	22,428 円

・混合ガソリン	35 本	346(円/本)	12,127 円
・肩掛式草刈機替刃	6 枚	770(円/枚)	4,620 円

---

ボランティアへの支援合計	204,319 円
--------------	-----------

---

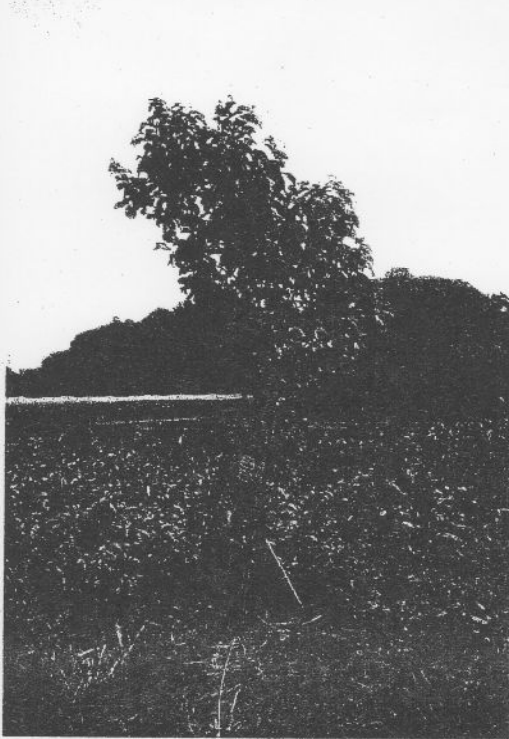
支出合計	8,401,666 円
------	-------------

【収支決算】（平成15年度事業完了時点での決算）

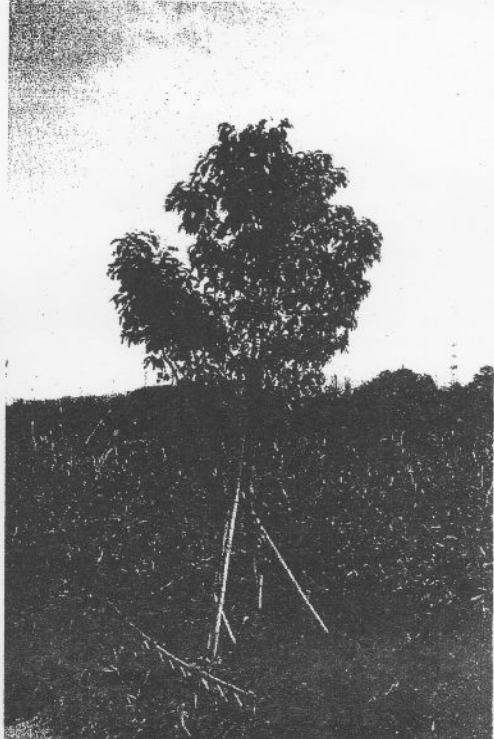
11,912,179 円 - 8,401,666 円 = 3,510,513 円  
（今後の維持管理費に適用）

## 植栽した桜の生育状況

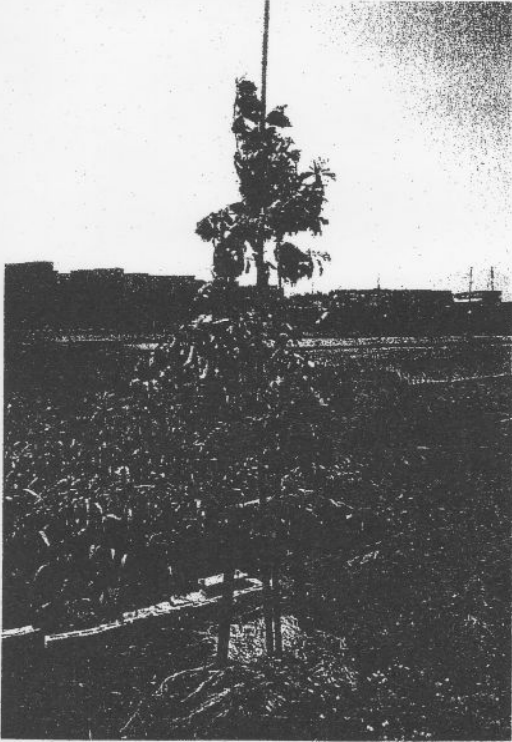
① H13植栽の陽光（宮内橋付近）



② H13植栽の陽光（城橋付近）



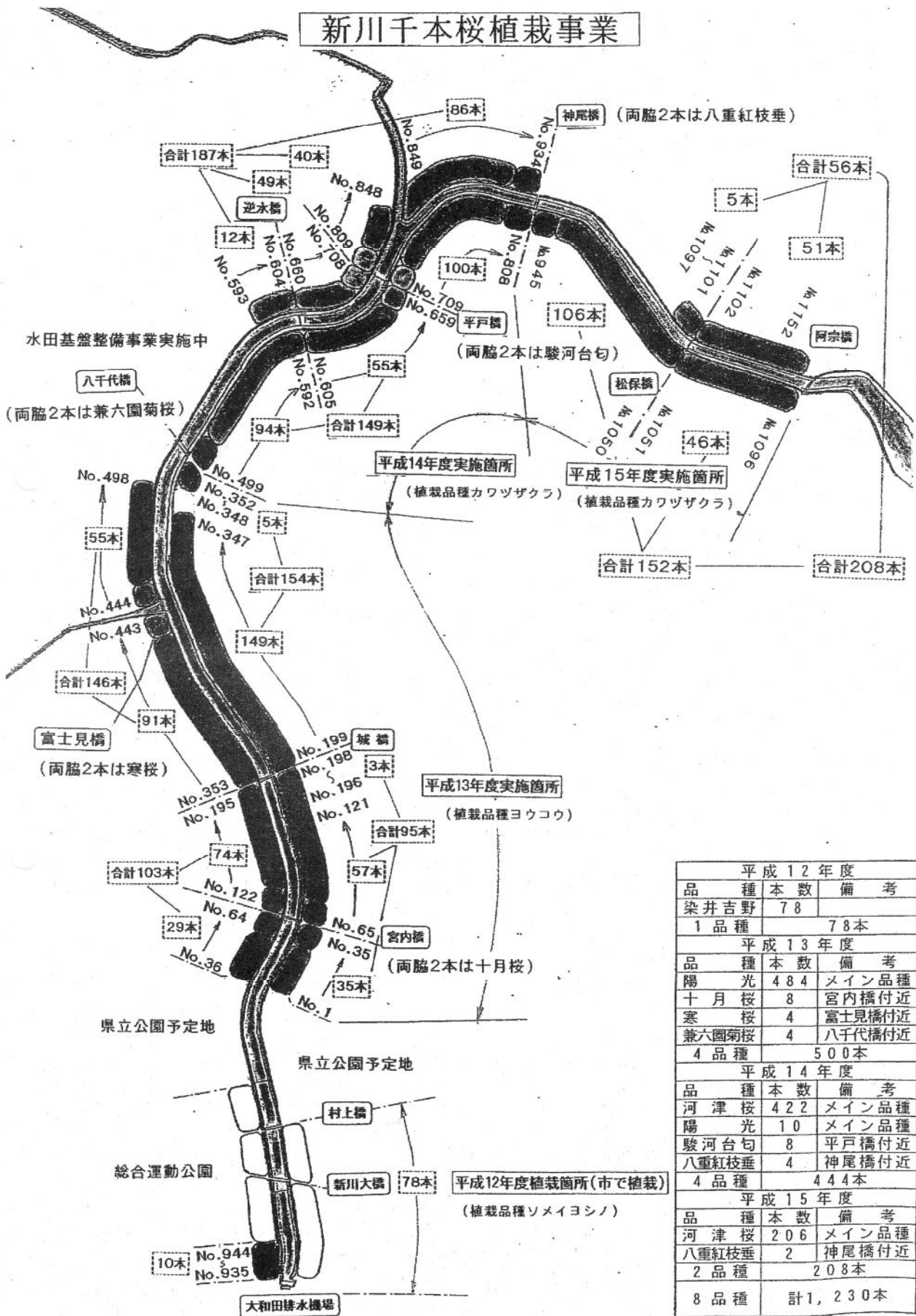
③ H14植栽の河津桜（逆水橋付近）



④ H14植栽の河津桜（平戸橋付近）



# 新川千本桜植栽事業



平成12年度		
品 種	本 数	備 考
染井吉野	78	
1 品 種	78本	
平成13年度		
品 種	本 数	備 考
陽 光	484	メイン品種
十 月 桜	8	宮内橋付近
寒 桜	4	富士見橋付近
兼六園菊桜	4	八千代橋付近
4 品 種	500本	
平成14年度		
品 種	本 数	備 考
河 津 桜	422	メイン品種
陽 光	10	メイン品種
駿河台匂	8	平戸橋付近
八重紅枝垂	4	神尾橋付近
4 品 種	444本	
平成15年度		
品 種	本 数	備 考
河 津 桜	206	メイン品種
八重紅枝垂	2	神尾橋付近
2 品 種	208本	
8 品 種	計1,230本	

第4号様式

会 議 開 催 結 果

1 会 議 名	新川千本桜植栽事業委員会
2 開 催 日 時	平成16年 5 月 2 1 日 (金) 午前 <del>午後</del> 10時00分 開会 午前 <del>午後</del> 11時00分 閉会
3 開 催 場 所	<del>市役所 新 旧 別館 階</del> 第 会 議 室 その他 ( ふるさとステーション会議室 )
4 議 題	事業報告書, その他
5 出 席 者 名 等	別紙議事録のとおり 委員 8 名 ( 3 名欠席 ) 事務局 4 名, 花と緑の基金 1 名
6 公開又は非公開の別	公 開 ・ <del>非公開</del> <del>部非公開</del>
7 非 公 開 の 理 由	八千代市審議会等の会議の公開に関する要領 第4条第 号 に該当 (理由)
8 傍 聴 人 定 員	1 名 (定員 10 名)
9 問 い 合 わ せ 先	所管課等 土木建設課 電話番号 047 (483) 1151 内線 3625, 3626



## 新川千本桜植栽事業委員会名簿

所属団体名	氏名	連絡先	備考
(財)八千代花と緑の基金	委員長 川上 幸男		副理事長
公募市民委員	副委員長 渡部 光夫		
八千代市造園建設業組合	吉岡 規和		会長
八千代市工場協議会	小久保 歆		会長
八千代青年会議所	比良田 裕二		理事長
八千代市長寿会連合会	田中 一雄		会長
八千代市自治会連合会	手塚 宏昭		会長
公募市民委員	小西 雅博		
"	福島 明		
土木部長	大塚 哲	内線3600	
プロジェクト部会	迫 秀信	内線3644	会長, 下水道建設課副主幹

### 【旧委員】

(財)八千代青年会議所	川島 慎一		平成13年度理事長
	飯田 明彦		平成14年度理事長
八千代市自治会連合会	山崎 英美		前会長
土木部長	安原 克		
	小川 昇		

## 新川千本桜植栽事業実施要領

### (事業の目的)

第1条 花を素材とし、美しいまちをつくることにより、地域への愛着心を高めるとい  
う「花のまちづくり構想」の一環である「新川千本桜植栽事業」（以下「本事業  
という。）として、また、新川及び桑納川における「ふるさとの川モデル事業」  
の一環として、桜を新川の堤に植栽し、桜の花で新川の両岸を埋め、これにより  
市民の市への愛着心を高めるとともに、新川の水辺空間の良好化を図ることを目  
的とする。

### (事業主体)

第2条 本事業は、本事業を実施する組織として組織された「新川千本桜植栽事業委員  
会」（以下「委員会」という。）により実施される。

### (事業資金)

第3条 本事業は、市民及び団体からの寄付金を基に実施する。

ただし、事業資金が不足した場合においては、「花と緑の基金」および市の財政  
からの資金提供を受けることもできる。

### (事業方法)

第4条 事業区域、桜の種類、植栽間隔、植栽位置、募金の方法、植栽方法、プレート  
の設置方法等具体の事業詳細については、プロジェクト部会の「中間報告書」（  
以下「報告書」という。）に基づき、委員会内部で検討し決定する。

### (その他)

第5条 この実施要領に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

## 附 則

この要領は、平成13年 5月28日より施行する。

## 新川千本桜植栽事業委員会設置要領

### (設置)

第1条 新川千本桜植栽事業を実施するため、新川千本桜植栽事業委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (任務)

第2条 委員会は、”新川千本桜推進プロジェクト部会”が作成した”中間報告書”を基に事業方針を定め、事業を実施する。

### (組織)

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

- 2 委員長は委員から互選し、副委員長は委員長が指名する。
- 3 委員長は、会務を総理し委員会を代表する。
- 4 副委員長は委員長を補佐し、委員長事故あるときはその職務を代理する。
- 5 委員は、造園協会、工場協議会、商工会又は青年会議所、長寿連合会、自治会連合会、公募市民、花と緑の基金、土木部長及びプロジェクト部会長をもって充てる。

### (会議)

第4条 委員会は、委員長が必要に応じて招集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 会議の議決は、出席委員の過半数を以ってこれを決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

### (事務局)

第5条 委員会の事務局は、土木部土木建設課に置く。

### (その他)

第6条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は委員長が別に定める。

## 附 則

この要領は、平成13年 5 月28日より施行する。